

なわしょうつうしん

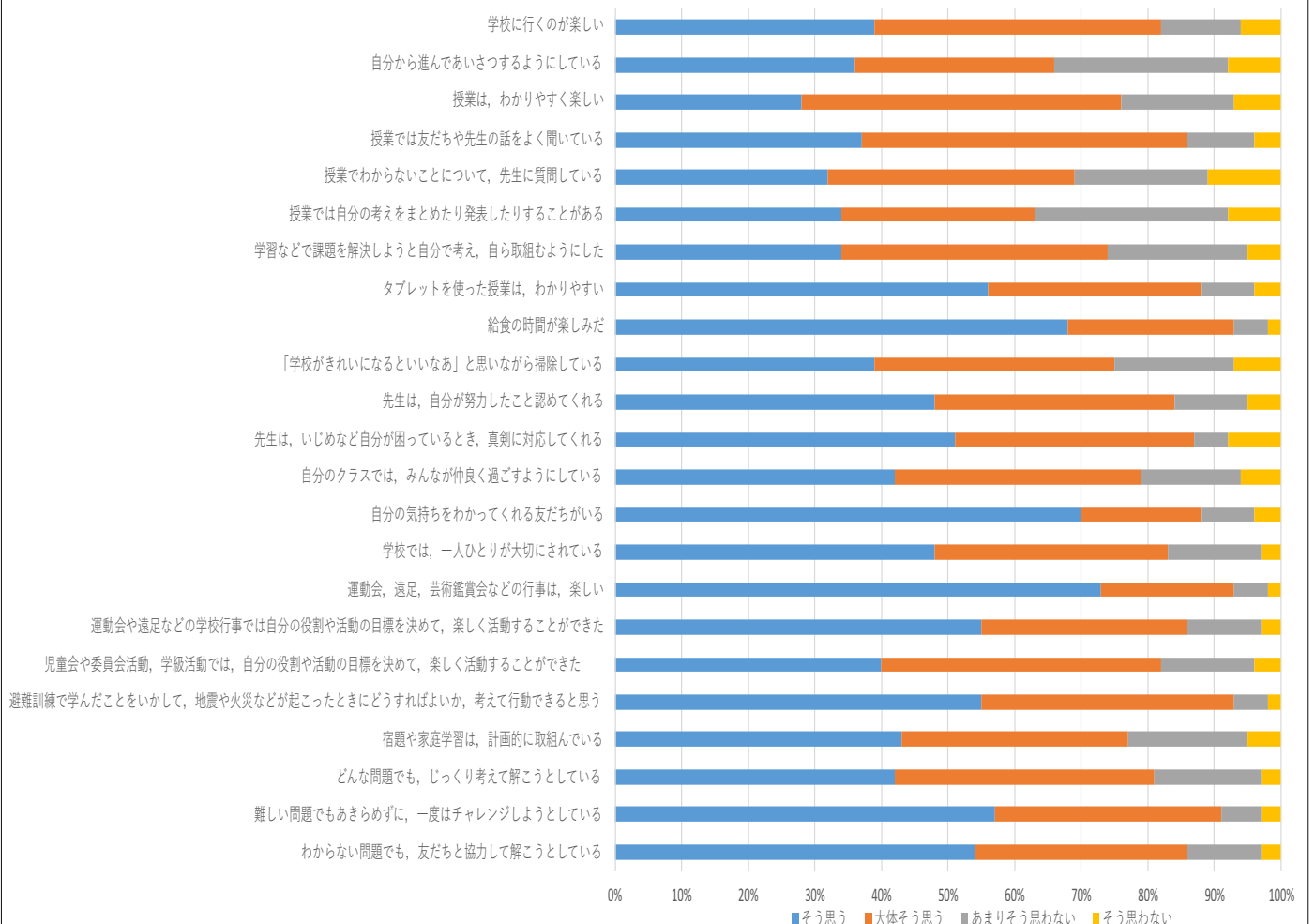
# 暁小通信

令和7年度 第18号  
令和8年 3月 19日発行  
四條暁市立四條暁小学校  
校長 香村 紀子

## 令和7年度学校教育自己診断アンケートの結果を お知らせします

先日、保護者のみなさまと4年生以上の子どもたちにご協力いただいた学校教育自己診断アンケートの結果をまとめましたので、お知らせいたします。  
【児童アンケート】

令和7年度 四條暁小学校教育自己診断アンケート（児童）



(データ配布であることを生かして、大きめに示してみました。)

ぶんせき  
【分析】

こうていてきかいとう たか こうもく  
○肯定的回答の高かった項目から。

こうもく 項目	こうていてきかいとう 肯定的回答	ひていてきかいとう 否定的回答
むずか もんだい 難しい問題でもあきらめずに、一度はチャレンジしようとしている。	91%	9%
じぶん きも 自分の気持ちをわかってくれる友だちがいる。	88%	12%
せんせい 先生は、いじめなど自分が困っているとき、真剣に話を聞いてくれる。	87%	13%
うんどうかい えんそく 運動会や遠足などの学校行事では自分の役割や活動の目標を決めて、楽しく活動することができた。	86%	14%

いろいろなことに、とにかくあきらめずに「やってみる」ことを、授業やが行事の取り組みをはじめとして様々な場面で取組んできました。例えば、算数の授業では問題に対して自分で考えてみる時間をとるようにしたり、子どもたちが考えを出し合いながら解決に導くような授業展開を工夫しました。また、運動会や遠足などの学校行事では、子どもたちの実行委員会を立ち上げ、子どもたち中心に取り組みを考えて実施することを多くの学年で実践しました。例えば今年の修学旅行の実行委員会では、標準服について考えている時期と重なったことから、自分たちで「どのような服装がふさわしいか」についても検討し、呼びかける姿がありました。

このような取り組みの積み重ねにより、子どもたちは「やってみる」に意識しながら、少しずつ主体的・積極的に学んだり活動したりできるようになってきているようです。それを「楽しい」と感じてくれるようになってほしいと次の段階へ目標につながります。

とも かんけい りょうこう こ おお けっか かいとう こ すく こんご  
友だち関係は良好な子どもが多いという結果ですが、「そうでない」と回答する子も少なくなく、今後の取り組みの必要性があります。

せんせい こ かんけい しんけん はなし き こうていてきかいとうりつ さくねんど  
先生と子どもたちとの関係においては、「真剣に話を聞いてくれる」と肯定的回答率が昨年度より6ポイント、高くなりました。「先生は自分が努力したことを認めてくれる」に対する肯定的回答率は、昨年度よりも11ポイントも高いという結果でした。様々な取組みを通して、集団の中での関係性と個としての関係性とをしっかりと見ながら、関わり続けていきたいと思えます。

ほか きゅうしょく たの こうていてきかいとう さくねんどひ がっこうせいかつ たの  
その他、「給食が楽しみだ」という肯定的回答は93%（昨年度比6P↑）で、学校生活に楽しみがあることがうかがえます。給食、子どもたちは大好きです！また、「避難訓練で学んだことを生かして、地震や火災などが起こったときに考えて行動できると思う」に、肯定的回答は93%。年間を通して実施している避難訓練や教室での安全や防災に関する学びが、いざというときに役立つと考える子が多いことも、心強く思えます。

● 肯定的回答の低かった項目から。

項目	肯定的回答	否定的回答
授業では自分の考えをまとめたり発表したりすることがある。	63%	37%
自分から進んであいさつするようにしている。	66%	34%
授業でわからないことについて、先生に質問している。	69%	31%

授業に関する事項については、今後の課題として挙げられます。「やってみ〜」ことは、意識できるように  
 なってきた子どもたちですが、まだそこに自信が持てていない、ということなのではないかと考えます。子ども  
 たちは、正解することをめざしがちですが、その前に問題解決に向かう途中の考えが形作られる過程を  
 大事にしたいです。

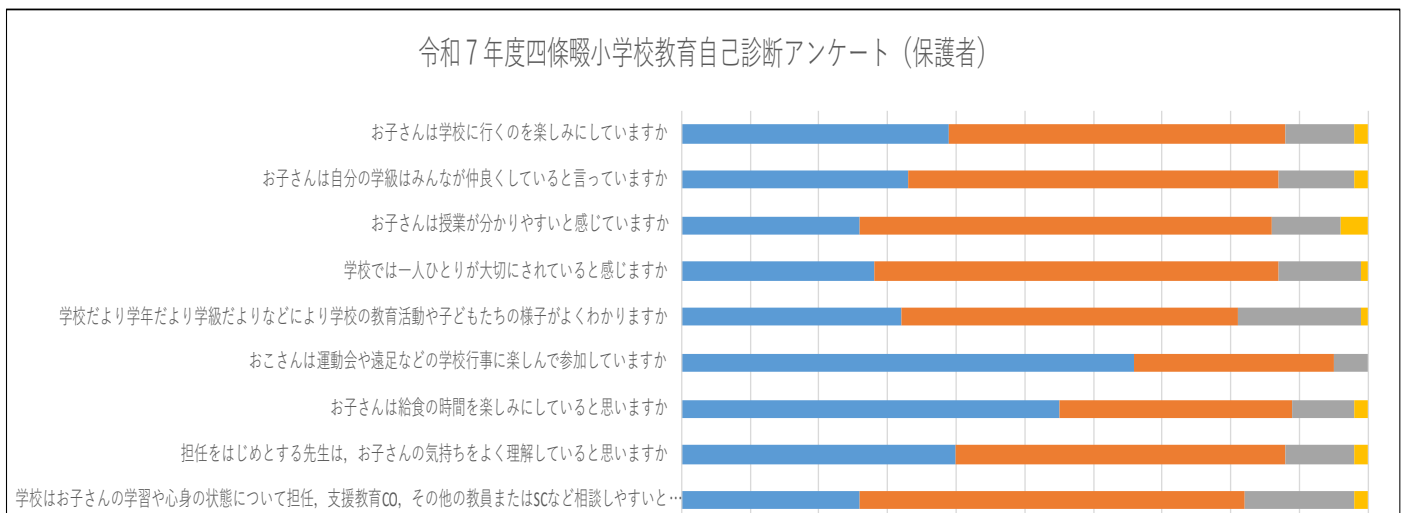
そして「あいさつ」。3学期に生活委員会が「あいさつ運動」を実施し、なんと全校で1万回分以上のスタン  
 プ(あいさつするともらう印のこと)が集まりました。それ以降、朝のあいさつも少しは増えてきたかと思  
 いますが…なかなかあいさつが返って来なくて寂しい思いをすることもあります。この課題は、今後も子ども  
 たちと一緒に解決策を考え、取り組んでいきたいと思ひます。

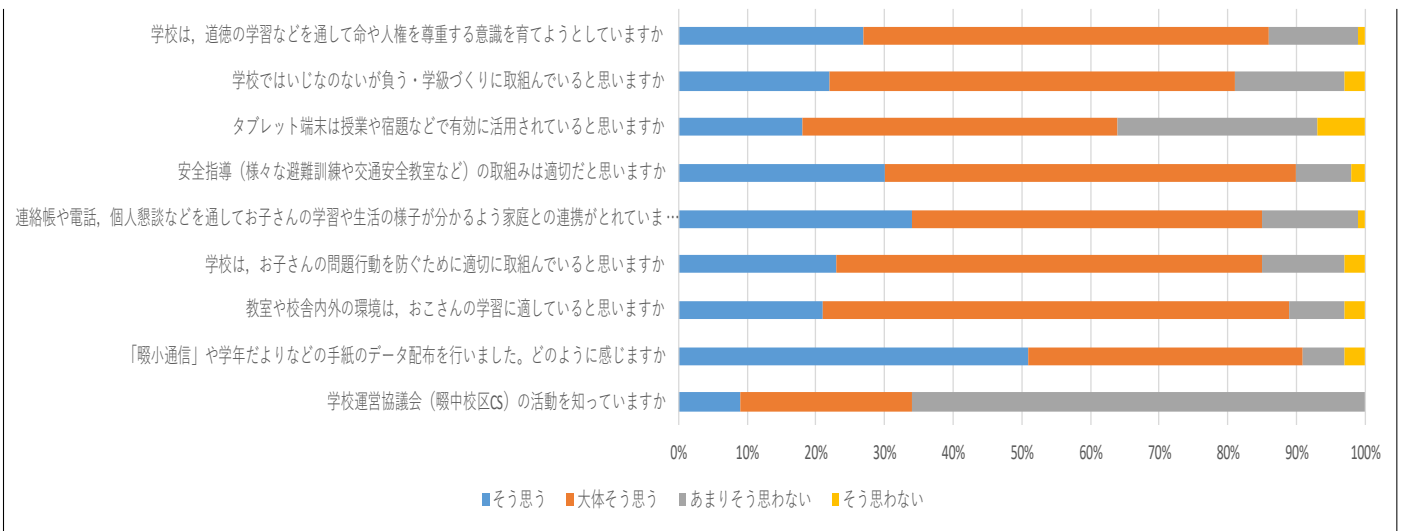
最後に、毎年気になる項目について…

項目	肯定的回答	否定的回答
学校に行くのが楽しい。	82%	18%

この82%は昨年度と比べて2ポイント高くなりました。あまり変わっていないとも言えますが、少しでも高  
 くなったことはこの項目だからこそうれしいです。これからも、子どもたちが様々な挑戦をしつつ、力をつけて  
 いく「楽しさ」を実現できる学校をめざしていききたいです。

【保護者アンケート】





## 【分析】

肯定的回答の高かった項目から。

項目	肯定的回答	否定的回答
お子さんは運動会や遠足などの学校行事に楽しんで参加していますか。	95%	5%
安全指導（様々な避難訓練や交通安全教室など）の取り組みは適切だと思いますか	90%	10%
教室や校舎内外の環境は、お子さんの学習に適していると思いますか。	89%	11%
担任をはじめとする先生は、お子さんの気持ちをよく理解していると思いますか。	88%	12%

学校行事に関する項目については、子どもたちの回答と一致しています。学校行事は、授業の一環であり、日々の取り組みの成果を得たり、集団活動の楽しさを味わったりできる教育活動です。「授業が基本!」と心して取り組んでいますが、学校行事で子どもたちはぐんっと成長した姿を見せます。その姿は私たち教職員もとても楽しみにしていて、いつも子どもたちの伸びる力に感心します。

安全指導については、多くの方に肯定的回答をいただきました。地震・火災・不審者に対応する避難訓練や、交通安全教室など、さまざまな機会に安全に暮らすための学びを今後も継続していきます。

先生たちが子どもたちの気持ちに寄り添っているかな、と思える肯定的回答をいただきました。少し安堵します。けれど、この結果に甘んじることなく、子どもたちへ適切に寄り添うことを大切にしていきたいと思えます。まだ不十分なこともあると思いますが、保護者のみなさまと連携しながら子どもたちを支えていきたいと思っています。

その他の項目では、暇小通信や学年だよりなどの手紙のデータ配布について91%の肯定的回答をいただきました。今後もマチコミメールを通じて配布してまいります。なお、紙データが必要な場合は遠慮なくお申し出くださいますようお願いいたします。

● 肯定的回答の低かった項目から。

項目	肯定的回答	否定的回答
タブレット端末は授業や宿題などで有効に活用されていると思いますか。	64%	36%
学校ではじめのない学校・学級づくりに取り組んでいると思いますか。	81%	19%

タブレット端末の活用に関する項目では、昨年度と比べて28ポイントも低くなりました。Windowsのアップデート期間や第2期GIGA スクールが始まるのを前に、これまでよりタブレット端末が活用できる期間が限られていたこともあったかもしれません。授業の様子を見ていると、子どもたちはタブレットに書き込むことで自分の意見を書きやすいと感じている場面が見られます。友だちの意見を知ることもしやすいシステムを活用することもあります。新年度からは新しく第2期GIGA スクールが始まり、しばらくは設定や操作の慣れなどに時間がかかるかもしれませんが、うまく活用していきたいと考えています。ご協力ください。

はじめのない学校・学級づくりについては、しっかりと見直しをしていく必要があります。学年に応じた題材で計画的に取り組んできてはいますが、一層工夫をして取り組んでいきたいと考えます。また、その取り組みについて、保護者の方にもお伝えする必要があります。

そしてやっぱり最後に…

項目	肯定的回答	否定的回答
お子さんは学校に行くのを楽しみにしていますか。	88%	12%

この88%は昨年度と同じポイントでした。子どもたちの回答とも近いことを考えると、ご家庭で学校のお話をしていたり、限られた機会の中で学校での様子を見られたときに、がんばっているお子さんの姿が見られたりしたのかもしれないな、と想像しています。今後、少しでも多くの保護者の方に肯定的回答がいただけるにはどうしたらよいか、教職員で考え取り組みを進めていきます。

学校教育自己診断アンケートの結果を、一部取り上げてお伝えしました。

たくさんのご意見をいただき、成果だと思えることもありますが、いくら肯定的回答が多いとはいっても課題はなにかを考察し、次年度の取り組みにいかすべきことがたくさん示唆されていたと思います。

今後とも、四條畷小学校の教育活動にご理解・ご協力をいただきますようお願いいたします。私たち教職員は、保護者のみなさまと子どもたちを共に支え育てていくチームとして、家庭と連携し、役割を果たしていきたいと思っています。

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

